

公表日

令和8年 1月 20日

事業所名

こばんはうすさくら 秋山駅前教室

保護者等数(児童数) 35名 回収数 19件 (割合 54%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1	0	2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	1	先生の数が多く、細かいところも見てくださっているように思います。,十分すぎるくらいでありがとうございます	ご感想をお寄せいただきありがとうございます。複数の職員で連携しながら関わることを大切にしておりますので、その点を評価していただけたことを大変うれしく思っております。今後もチームで支援の質向上に努めてまいります。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、パリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	16	0	0	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	2		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	0	0	1	子どもたちが楽しんで取り組める工夫がされていると感じます。,感動するくらい個別に対応してくれています。	温かいお言葉をありがとうございます。子どもたちが楽しみながら取り組めるよう、工夫している点を感じ取っていただけたことを、大変嬉しく思っております。今後も一人ひとりに合った関わりを大切にしながら、支援内容の充実に努めてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	10	1	2	6		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	2	6		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	17	1	1	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1	0	0		

	18	父兄の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	4	3	5	他の保護者の方と出会う機会がないのでわからないないです、事業所での保護者交流会は、無いので保護者の繋がりがあるといいと思う。	ご意見をお寄せいただきありがとうございます。保護者様同士のつながりがあると心強いというお気持ちには共感いたします。現在は交流会の実施は行っておりませんが、今後の検討課題として受け止めさせていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることにについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1	0	3		
保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	0	1	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	2	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	0	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1	0	9		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	1	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	0	概ねそうだが、夏休みに放デーの部屋に行った際しばらく不安定であった	今回のご様子を踏まえ、今後は環境の変化や利用形態について、段階やベースを検討し、十分にご相談しながら進めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	1	0	0	いつも楽しい活動があり楽しく通所出来ています。ありがとうございます。色々な活動を行ってくれているので楽しみに通っている	温かいお言葉ありがとうございます。お子さまが通所を楽しみにしてくださっていること、職員にとって何より励みになるお言葉です。お子さまが安心して過ごし「また来たい」と思える時間となるよう、今後もご家庭と連携しながら支援を行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1	0	0	全員が子供達を呼び捨てにしているのが気になりました。それも支援のうちであれば保護者に周知して頂けると理解ができるのですがびっくりしました。支援内容には概ね満足していますが、保護者との交流や見学出来る機会がもう少しあれば良いなと感じました。普段の保育園では不安が多かったのですが、こちらでは本当に安心してお任せしております。いつもありがとうございます。	このたびは貴重なご意見をありがとうございます。子どもたちとの関係づくりの中で、親しみを込めて呼び捨てで声をかけることがございました。しかしながら、保護者様によってお考えや受け止め方が異なること、お気持ちを大切にすべき点であると改めて認識いたしました。また、必要に応じて事前に保護者様へ確認を行うなど、より丁寧な対応を心掛けてまいります。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表日

令和8年 1月 20日

事業所名

こばんはうすさくら 秋山駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	机上活動と身体を動かせる部屋を分けている,人数や活動内容によって部屋を使い分けている,活動に合わせて、大部屋と机上部屋で分けている。,広がりが十分にある,密にならないように机の配置をその日に来所する子どもの人数によって変えていくところ	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	0	少し支援が必要な児童がいるときには多めに配置できている	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	0	できている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	毎日清掃、環境整備している。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	クールダウンや学習するために確保できている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	0	児発と放ディの個別のノートがあり、随時更新されるため休みであっても情報共有がされている。,できている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	できている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	支援前に、職員同士で話をする時間を作っている,常に意見が述べやすい環境になっている。,適宣話をしている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	2	できている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	確保している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	されている,月初めに保護者に向けてプログラムカレンダーを配布している	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	適宣検討している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	行われている	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0	適宣確認できている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	具体的である	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	支援前に話し合いをしている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	朝礼等で支援内容を共有している,子どもが楽しくてプログラムに取り組めるよう新しいプログラムが組み込まれている	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援を行っているか。	11	1	行われている	

	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	1	毎回行っている	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	1	振り替えりをしている	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	支援記録に残している	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	適宜行えている	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	参画している	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	2	整えている	
	26 併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0	そのような観点から支援している	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0	情報共有している	
関係機関や保護者との連携	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会など部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	2	適宜もうけている	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	6	6		
	33 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	共有している	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0	行っている	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	説明を適宜している	
保護者への説明等	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	適宜もうけている	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	0	得ている	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	行っている	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	4	イベントで行っている	
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	適切に対応している	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	0	発信できている	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	それぞれが守っている	

	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	配慮している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	5	そのような機会はない	今後検討していきます
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	適宜実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	適宜実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	0	適宜確認している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	適宜確認している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	支援している	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0	適宜周知している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	適宜話し合いをしている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	適宜研修等で共有している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	0	している	